Daisy Chain モジュールがラピッドプロトタイピングで期待どおりに動作しない場合がある

質問：

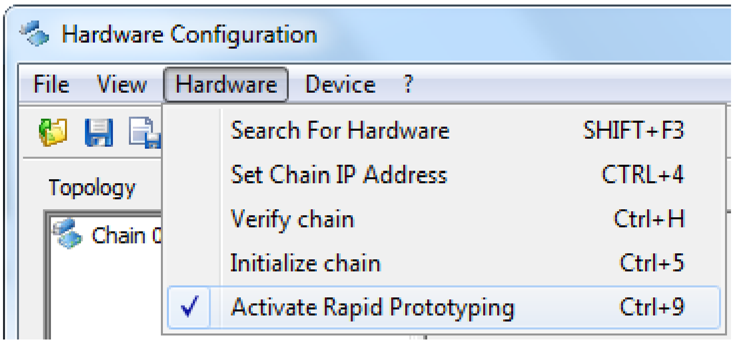
Daisy Chain モジュール（ES4xx や ES930 など）が、ES910 と組み合わせた際にラピッドプロトタイピングアプリケーションで期待どおりに動作しないのはなぜですか。

ES4xx、ES6xx、および ES930 モジュールは、ES910 の IO ポートに接続することで、INTECRIO や ASCET-RP を使用したラピッドプロトタイピングアプリケーションに使用できるようになります。Daisy Chain Configuration Tool によって書き込んだ設定を INTECRIO または ASCET-RP（ETC）のハードウェア設定に正しく読み込んだ場合でも、受信された信号はユーザーの期待と一致しない場合があります。

回答：

考えられる理由：

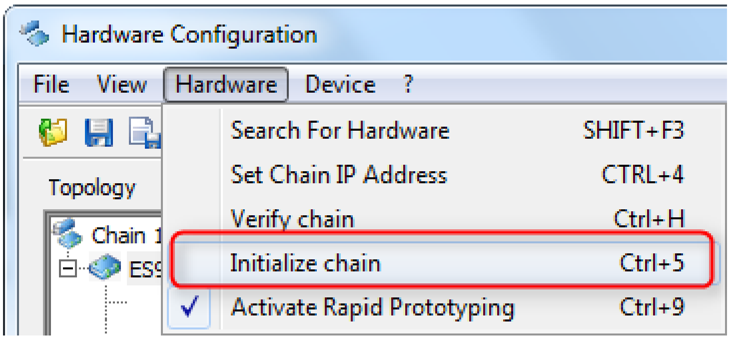
- **ラピッドプロトタイピングモード：** 通常、Daisy Chain Configuration Toolは始動時に、設定されたチェーンを計測および適合アプリケーションまたはラピッドプロトタイピングに用いる必要があるかどうかを問い合わせます。ただし、この設定は、メニューの[*Hardware*] -> [*Activate Rapid Prototyping*]からツールを起動した後に変更することができます。



  ラピッドプロトタイピングモードでは、ES910 で実行されているモデルでデータをリアルタイムに処理できるようにするため、計測したデータを取得後直ちに計測モジュールから ES910 へと送信します。計測および適合アプリケーションモードでは、データをより大きなパッケージで収集および送信します。これはネットワークトラフィックの総量を減少させますが、リアルタイムアプリケーションには適していません。

- **Daisy Chainの初期化：** ES910は、単独でDaisy Chainモジュールを初期化することはできません。INTECRIOまたはASCET-RPでは設定ファイルが利用されますが、これはDaisy Chainモジュールに既に適用されている設定と一致している必要があります。モジュール上でこの設定を実行するには、Daisy Chain Configuration Toolを使用して、メニュー[*Hardware*] -> [*Initialize Chain*]などでモジュールを初期化する必要があります。

© ETAS GmbH 2016.著作権所有。廃棄、利用、複製、編集、配布に関する場合、および産業財産権の申請時も含め、すべての権利は留保されています。



補足：メニュー[*Device*] -> [*Download Configuration*]は、モジュールで実際に実行されている設定には影響しません。後で（別の）PC に読み込めるようにモジュールにファイルを保存するだけですが、使用される設定には直接適用されません。

- **ソフトウェア／ファームウェアのバージョンが一致していない：**Daisy Chain Configuration Tool、INTECRIO、ASCET-RP、または Hardware Service Pack（HSP）のバージョンが一致しないと、ツールチェーン全体が正しく動作しない場合があります。一般に、ETAS では上記ツールの最新バージョンへのアップデートを推奨しています。

その他のお問い合わせについて：

その他の FAQ については、次のサイトでご確認ください。www.etas.com/ja/faq

ご不明な点がある場合は、当社のサポートセンターへお気軽にお問い合わせください。

こちらからあらゆる情報をご確認いただけます。http://www.etas.com/ja/hotlines.php

420812886 / 12

本情報（以下「FAQ」）の提供において、当社は（明示的または黙示的を問わず）その完全性または正確性に関する責任、金銭的保証、または義務を一切負いません。ETAS は、故意の損害が生じた場合を除き、本情報の使用に起因する、または起因した可能性のある損失および損害（間接的損害、特別損害または派生的損害を含む）について責任を負わないものとします。

© ETAS GmbH 2016.著作権所有。廃棄、利用、複製、編集、配布に関する場合、および産業財産権の申請時も含め、すべての権利は留保されています。